

2 1. 新規褥瘡発生率

算式

【分子】 分母対象例のうち、入院中に新たに「DESIGN-Rでd2以上」又は「NPAUP分類でステージⅡ以上」に該当する褥瘡が発生した患者数

【分母】 新入院患者数

定義

入院患者における新規褥瘡の発生割合

指標の解説

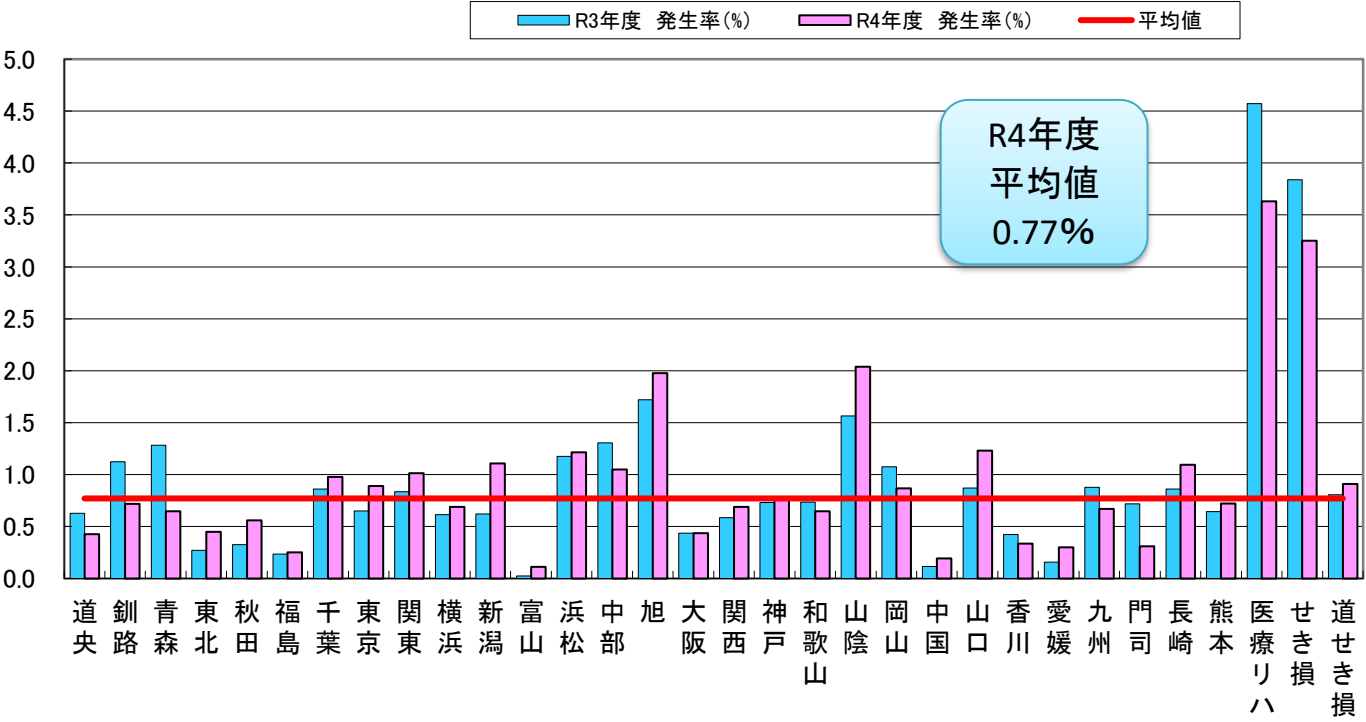
施設調査より抽出

安全で質の高い医療の提供に関して、病院での褥瘡予防の取組みについて褥瘡の発生状況から評価する。

褥瘡は、患者のQOLの低下により、在院日数の長期化や医療費の増大につながる。褥瘡対策は、医療の重大な項目のひとつに取り上げられ診療報酬にも反映されている。

発生率が低い場合には、患者のQOL向上に積極的に取り組むとともに、効率的な医療を提供していると評価できる。

2 1. 新規褥瘡発生率



		R3年度			R4年度		
No	施設名	分母	分子	発生率(%)	分母	分子	発生率(%)
1	道央	2,872	18	0.63	2,578	11	0.43
2	釧路	8,624	97	1.12	8,343	60	0.72
3	青森	3,972	51	1.28	4,017	26	0.65
4	東北	10,346	28	0.27	9,759	44	0.45
5	秋田	1,846	6	0.33	1,784	10	0.56
6	福島	5,541	13	0.23	5,987	15	0.25
7	千葉	10,579	91	0.86	10,524	103	0.98
8	東京	6,290	41	0.65	6,287	56	0.89
9	関東	14,016	117	0.83	13,418	136	1.01
10	横浜	16,248	100	0.62	17,258	119	0.69
11	新潟	1,609	10	0.62	1,533	17	1.11
12	富山	3,999	1	0.03	3,605	4	0.11
13	浜松	5,187	61	1.18	5,188	63	1.21
14	中部	9,185	120	1.31	9,060	95	1.05
15	旭	4,122	71	1.72	4,401	87	1.98
16	大阪	18,604	81	0.44	20,774	91	0.44
17	関西	16,419	96	0.58	16,256	112	0.69
18	神戸	5,599	41	0.73	5,814	44	0.76
19	和歌山	7,746	57	0.74	7,423	48	0.65
20	山陰	6,835	107	1.57	6,626	135	2.04
21	岡山	5,478	59	1.08	5,538	48	0.87
22	中国	7,828	9	0.11	7,778	15	0.19
23	山口	4,365	38	0.87	4,471	55	1.23
24	香川	8,508	36	0.42	8,040	27	0.34
25	愛媛	3,182	5	0.16	2,659	8	0.30
26	九州	9,360	82	0.88	9,565	64	0.67
27	門司	3,062	22	0.72	2,891	9	0.31
28	長崎	4,762	41	0.86	5,111	56	1.10
29	熊本	9,020	58	0.64	8,873	64	0.72
30	医療リハ	328	15	4.57	358	13	3.63
31	せき損	1,120	43	3.84	1,107	36	3.25
32	道せき損	1,611	13	0.81	1,538	14	0.91
合計		218,263	1,628	0.75	218,564	1,685	0.77
平均	500床以上	14,136	90	0.64	14,421	100	0.69
	400床以上	8,272	54	0.65	8,148	48	0.59
	300床以上	6,232	56	0.91	6,298	63	1.00
	300床未満	2,520	23	0.92	2,406	21	0.89